

令和5年度 子どもの居場所づくり推進事業、放課後等子ども教室推進事業におけるふりかえり

令和6年4月15日

和歌山県伊都郡かつらぎ町

担当:かつらぎ町教育委員会生涯学習課 社会教育係

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の報告

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	感染症対策により人とふれあう場が減少している。	異世代や地域の人との交流の場をつくるために週1回地域の人を講師として塾を開催する。	異世代や地域の人との交流を深めて自己肯定感を上げる。	自己肯定感の確認のアンケートの実施	— %	50%	— %	2 地域の人を講師として塾を開催することはできなかった(インフルエンザ等感染症の流行及び講師応募者がなかった)が、放課後活動事業では地域で特色ある作品の制作及びダンスや太鼓などの練習・発表、また、異年齢交流を目的とした調理実習を行ったが参加者が固定化している。
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	感染症対策により放課後等の体験活動事業(児童館事業、通学合宿等)の多くが中止となり、子どもの体験する機会が減少している。	体験活動事業を一定数開催し、参加できる機会を確保する。	放課後等の体験活動事業への参加による経験の確保。	体験活動事業の参加者数	— 人	100人	69人	3 通学合宿では4カ所で延べ69人の参加があり、地域の方と食事の準備・後片付け、入浴施設を経験し、家庭の役割や家事労働の苦勞なを実感することができた。